

品質管理活動の充実図る

ダク異形管工業会

犬塚ハズ社長が会長に



犬塚新会長



村瀬会長

日本ダクスタイル異形管工業会は7日、都内で第63回定時総会を開いた。2022年度事業報告や23年度事業計画案などを審議し、すべて了承した。また役員改選に伴い、村瀬充・村瀬鉄工所代表取

締役社長に代わる新会長に犬塚宣明・ハズ代表取締役社長、新副会長に遠山善彦・遠山鐵工所代表取締役が選任された。村瀬会長は「上下水道サービスは24時間365日休まず稼働し、国民生活を支える大切なライフライン。最近も豪雨や地震などの自然災害が頻発している。耐震管路を構成しているダクスタイル異

形管などはこうした災害時の被害を少なくするためにはならない材料で、今後も安定して供給していくことは私たちの使命であり続けた。今年度は、会員企業の品質向上にとって有用な標準書の制定に取り組み、ホームページ掲載や出前教室などを通じて会員各社へ周知を図る。標準書では▽JDFQ013「(仮称)受け入れなどの材料管理標準」(2024年4月1日制定予定)▽JDFQ014「(仮称)変化点管理標準」(2025年4月1日制定予定)▽JDFQ012-4「測定機器の測定手順標準ーピンホールディテクター」▽JDFQ012-5「測定機器の測定手順標準ー

圧力計(水圧)ー」▽JDFQ012-6「測定機器の測定手順標準ー引張試験機ー」に取り組み。また、既存資料を整理し、メール・ホームページ・ウェブ会議などの活用を検討する。ほかにもホームページをリニューアルし12月に運用開始するほか、会員企業の社員を対象に配管接合講習会

を8月に開催する。総会后、犬塚新会長は「コロナ禍で様々な行事が中止となるなか、塗料問題が発生した際には、技術委員会をはじめ当工業会の皆様には助けていただいた。皆様はライブ中でもありますが、その中でもできるものを考えていきたい」と就任の決意を述べた。

を8月に開催する。総会后、犬塚新会長は「コロナ禍で様々な行事が中止となるなか、塗料問題が発生した際には、技術委員会をはじめ当工業会の皆様には助けていただいた。皆様はライブ中でもありますが、その中でもできるものを考えていきたい」と就任の決意を述べた。